



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成29年7月26日

上場会社名 株式会社アドバンテスト
 コード番号 6857 URL <https://www.advantest.com/investors>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 吉田 芳明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 藤田 敦司

TEL 03-3214-7500

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	40,697	0.1	2,226	△61.2	1,567	△74.6	991	△80.1	991	△80.1	1,117	—
29年3月期第1四半期	40,669	1.3	5,738	131.8	6,179	144.2	4,975	183.5	4,975	183.5	△4,039	—

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	5.60	5.21
29年3月期第1四半期	28.50	25.97

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	217,504		109,317		109,317		50.3	
29年3月期	231,603		109,517		109,517		47.3	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	13.00	—	12.00	25.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	172,000	10.3	18,000	29.4	18,180	21.0	15,000	5.6	15,000	5.6

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	199,566,770 株	29年3月期	199,566,770 株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	22,199,564 株	29年3月期	22,736,166 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	177,012,805 株	29年3月期1Q	174,572,523 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況.....	P. 2
(1) 経営成績の概況.....	P. 2
(2) 財政状態の概況.....	P. 3
(3) キャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し.....	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記.....	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書.....	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書.....	P. 7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書.....	P. 9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	P. 10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(セグメント情報)	P. 11
2017 年度第 1 四半期 決算(連結)の概要	P. 12

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2017年4月1日～2017年6月30日)の状況 (単位:億円)

	2017年3月期 第1四半期連結累計期間	2018年3月期 第1四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	438	494	12.8%
売上高	407	407	0.1%
営業利益	57	22	△61.2%
税引前四半期利益	62	16	△74.6%
四半期利益	50	10	△80.1%

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、堅調な米国経済などに支えられ、全体として回復基調が続きました。

半導体関連市場においては、自動車電装化の進展などを背景に、車載半導体やセンサーの市場が活況でした。また、データセンター向け需要の伸びを背景としたメモリ半導体の需要拡大が続いたことで、3次元NAND型フラッシュメモリ向けをはじめとして積極的な設備投資が行われました。一方スマートフォン関連の市場では、中国スマートフォンの在庫調整が行われたことで、関連する半導体メーカーの生産能力拡張投資に盛り上がりを欠き、半導体試験装置に対する新規需要が伸び悩みました。

当四半期の平均為替レートにつきましては、米ドルが112円(前年同期111円)、ユーロが121円(同124円)となりました。

このような事業環境のもと、当社は、事業の拡大に取り組みました。

その結果、受注高は494億円(前年同期比12.8%増)、売上高は407億円(同0.1%増)となりました。採算性が良好なスマートフォン関連製品の売上高比率が前年同期に比べ落ち込んだため、営業利益は22億円(同61.2%減)となりました。ユーロに対するドル安の進行により、欧州子会社のドル建て資産で為替差損が増加したことで、税引前四半期利益は16億円(同74.6%減)、四半期利益は10億円(同80.1%減)となりました。海外売上比率は91.1%(前年同期93.4%)です。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<半導体・部品テストシステム事業部門>

(単位:億円)

	2017年3月期 第1四半期連結累計期間	2018年3月期 第1四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	298	316	5.9%
売上高	287	267	△7.1%
セグメント利益	80	26	△68.2%

当部門では、非メモリ半導体用テストシステム事業は、中国スマートフォンの在庫調整の影響を受け、スマートフォンに搭載される半導体関連の需要が前年同期に比べ減少しました。車載半導体向けは堅調なテストシステム需要が続きました。メモリ半導体用テストシステム事業は、メモリ半導体メーカー各社の旺盛な設備投資意欲を背景として、前年同期に比べ需要が大きく伸びました。

以上により、当部門の受注高は316億円(前年同期比5.9%増)、売上高は267億円(同7.1%減)、セグメント利益は26億円(同68.2%減)となりました。

<メカトロニクス関連事業部門>

(単位: 億円)

	2017年3月期 第1四半期連結累計期間	2018年3月期 第1四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	62	108	73.4%
売上高	52	72	39.4%
セグメント利益	△10	△1	—

当部門では、メモリ半導体メーカーの生産能力拡張投資が積極的に行われる中、メモリ半導体用テストシステムと事業関連性の高い、デバイス・インタフェースやテスト・ハンドラの需要が伸びました。

以上により、当部門の受注高は108億円(前年同期比73.4%増)、売上高は72億円(同39.4%増)、セグメント損失は1億円(同9億円改善)となりました。

<サービス他部門>

(単位: 億円)

	2017年3月期 第1四半期連結累計期間	2018年3月期 第1四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	77	70	△9.9%
売上高	69	69	△0.2%
セグメント利益	6	7	11.0%

当部門では、一部スマートフォン関連を除き、半導体市況が全体として活況であったことを背景に、当部門の主力であるフィールドサービス事業が堅調でした。

以上により、当部門の受注高は70億円(前年同期比9.9%減)、売上高は69億円(同0.2%減)、セグメント利益は7億円(同11.0%増)となりました。

(2) 財政状態の概況

当第1四半期末の総資産は、前年度末比141億円減少し、2,175億円となりました。この主な要因は、現金および現金同等物が125億円減少したことなどによります。負債合計は、社債の償還により150億円減少したことなどにより、前年度末比139億円減少し、1,082億円となりました。また、資本合計は1,093億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比3.0ポイント増加し、50.3%となりました。

(3) キャッシュ・フローの概況

当第1四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より125億円減少し、828億円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益16億円を計上したことに加え、営業債権およびその他の債権の減少(23億円)、営業債務およびその他の債務の減少(△21億円)に、減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、31億円の収入(前年同期は、77億円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億円の収入(前年同期は、12億円の支出)となりました。これは主に、売却可能金融資産の売却による収入(9億円)および有形固定資産の取得(△6億円)によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、162億円の支出(前年同期は、16億円の支出)となりました。これは主に、社債の償還による支出(△150億円)および配当金の支払(△20億円)によるものであります。

(4) 今後の見通し

AI や IoT の利用拡大とそれを支えるデータセンターの能力増強、自動車の先進運転支援システムの採用拡大、高機能なスマートフォンの一層の普及、第5世代移動通信システムの実用化など、より快適・安全な社会の実現を目指す流れが、今後の半導体市場およびその関連市場の成長を主導すると想定しています。

当社の主たる収益基盤である半導体試験装置市場の先行きを展望しますと、非メモリ半導体用テストシステムは、足元は需要がいったん落ち込んでいるものの、高性能ロジック IC 向けの需要回復などに牽引され、下期以降は事業環境が好転する見通しです。また高速・大容量な DRAM や NAND 型フラッシュメモリへの一層の需要が見込まれることを背景に、メモリ半導体用テストシステムに対する堅調な需要が、通期にわたり維持されると予想しています。

このような見通しのもと、当社は、半導体試験装置市場におけるシェアの伸長、半導体試験装置周辺事業の強化、コストの引き締めなどを通じ、収益改善に引き続き取り組んでまいります。

通期連結業績予想については、各事業の今後の見通しと直近の為替の状況を踏まえ、売上高 1,720 億円、営業利益 180 億円、税引前利益 182 億円、当期利益 150 億円、と 2017 年 4 月に公表した内容を据え置きます。予想の前提とした為替レートは、米ドルが 110 円、ユーロが 120 円です。

2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	95,324	82,847
営業債権およびその他の債権	32,451	30,255
棚卸資産	39,093	39,397
その他の流動資産	2,976	4,010
(小計)	169,844	156,509
売却目的で保有する資産	1,295	1,295
流動資産合計	171,139	157,804
非流動資産		
有形固定資産	29,915	29,544
のれんおよび無形資産	16,479	16,473
その他の金融資産	3,625	2,310
繰延税金資産	10,282	10,841
その他の非流動資産	163	532
非流動資産合計	60,464	59,700
資産合計	231,603	217,504

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務およびその他の債務	28,489	26,472
社債	15,000	-
未払法人所得税	1,927	1,480
引当金	1,643	1,624
その他の金融負債	626	1,722
その他の流動負債	3,749	4,602
流動負債合計	51,434	35,900
非流動負債		
社債	29,745	29,777
その他の金融負債	39	-
退職給付に係る負債	38,865	40,355
繰延税金負債	420	540
その他の非流動負債	1,583	1,615
非流動負債合計	70,652	72,287
負債合計	122,086	108,187
資本		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	44,319	44,103
自己株式	△ 86,039	△ 84,007
利益剰余金	113,676	111,534
その他の資本の構成要素	5,198	5,324
親会社の所有者に帰属する持分合計	109,517	109,317
資本合計	109,517	109,317
負債および資本合計	231,603	217,504

(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

	(単位：百万円)	
	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2016年 4 月 1 日 至 2016年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2017年 4 月 1 日 至 2017年 6 月 30 日)
売上高	40,669	40,697
売上原価	△ 15,391	△ 20,117
売上総利益	25,278	20,580
販売費および一般管理費	△ 19,597	△ 18,415
その他の収益	138	81
その他の費用	△ 81	△ 20
営業利益	5,738	2,226
金融収益	497	454
金融費用	△ 56	△ 1,113
税引前四半期利益	6,179	1,567
法人所得税費用	△ 1,204	△ 576
四半期利益	4,975	991
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	4,975	991
1 株当たり四半期利益		
基本的	28.50円	5.60円
希薄化後	25.97円	5.21円

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
四半期利益	4,975	991
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△ 8,902	698
売却可能金融資産の公正価値の純変動	△ 112	△ 572
税引後その他の包括利益	△ 9,014	126
四半期包括利益	△ 4,039	1,117
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△ 4,039	1,117

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2016年4月1日 残高	32,363	44,478	△ 94,585	105,190	6,173	93,619	93,619
四半期利益				4,975		4,975	4,975
その他の包括利益					△ 9,014	△ 9,014	△ 9,014
四半期包括利益	-	-	-	4,975	△ 9,014	△ 4,039	△ 4,039
自己株式の取得			0			0	0
自己株式の処分							
配当金				△ 1,746		△ 1,746	△ 1,746
所有者との取引額等合計	-	-	0	△ 1,746	-	△ 1,746	△ 1,746
2016年6月30日 残高	32,363	44,478	△ 94,585	108,419	△ 2,841	87,834	87,834

当第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2017年4月1日 残高	32,363	44,319	△ 86,039	113,676	5,198	109,517	109,517
四半期利益				991		991	991
その他の包括利益					126	126	126
四半期包括利益	-	-	-	991	126	1,117	1,117
自己株式の取得			△ 1			△ 1	△ 1
自己株式の処分		△ 216	2,033	△ 1,011		806	806
配当金				△ 2,122		△ 2,122	△ 2,122
所有者との取引額等合計	-	△ 216	2,032	△ 3,133	-	△ 1,317	△ 1,317
2017年6月30日 残高	32,363	44,103	△ 84,007	111,534	5,324	109,317	109,317

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	6,179	1,567
減価償却費および償却費	1,036	1,166
売却可能金融資産売却益	-	△ 349
営業債権およびその他の債権の増減額 (△は増加)	1,837	2,314
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 1,761	△ 192
営業債務およびその他の債務の増減額 (△は減少)	321	△ 2,145
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	44	△ 18
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	835	581
その他	343	876
小計	8,834	3,800
利息および配当金の受取額	97	110
利息の支払額	△ 80	△ 48
法人所得税の支払額	△ 1,120	△ 800
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	7,731	3,062
投資活動によるキャッシュ・フロー		
売却可能金融資産の売却による収入	-	851
有形固定資産の取得による支出	△ 1,214	△ 556
無形資産の取得による支出	△ 30	△ 106
その他	33	53
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 1,211	242
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	-	811
社債の償還による支出	-	△ 15,000
配当金の支払額	△ 1,601	△ 1,977
その他	△ 18	△ 4
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 1,619	△ 16,170
現金および現金同等物に係る換算差額	△ 5,187	389
現金および現金同等物の純増減額 (△は減少)	△ 286	△ 12,477
現金および現金同等物の期首残高	85,430	95,324
現金および現金同等物の四半期末残高	85,144	82,847

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年6月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	28,683	5,123	6,863	—	40,669
セグメント間の売上高	4	34	—	△ 38	—
合計	28,687	5,157	6,863	△ 38	40,669
セグメント利益(調整前営業利益)	8,039	△ 985	634	△ 1,950	5,738
(調整)ストック・オプション費用	—	—	—	—	—
営業利益	—	—	—	—	5,738
金融収益	—	—	—	—	497
金融費用	—	—	—	—	△ 56
税引前四半期利益	—	—	—	—	6,179

当第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	26,657	7,188	6,852	—	40,697
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	26,657	7,188	6,852	—	40,697
セグメント利益(調整前営業利益)	2,558	△ 80	704	△ 956	2,226
(調整)ストック・オプション費用	—	—	—	—	—
営業利益	—	—	—	—	2,226
金融収益	—	—	—	—	454
金融費用	—	—	—	—	△ 1,113
税引前四半期利益	—	—	—	—	1,567

- (注) 1. 当社グループは、ストック・オプション費用調整前営業利益(△損失)をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。
2. 報告セグメントの利益は、ストック・オプション費用調整前営業利益(△損失)をベースとしております。
3. セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。
4. 全社に含まれるセグメント利益への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

2017年度第1四半期 決算(連結)の概要

1. 受注・受注残

(単位:億円)

	2016年度実績				2017年度実績			2017年度業績予想	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	前年同期比	前期比	通期	前年度比
受注高	438	285	440	484	494	12.8%	2.0%	(1,750) 1,750	6.3%
受注残	365	295	422	422	509	39.2%	20.6%	(452) 452	7.1%

(注)上段()の数値は、2017年4月27日発表時の予想であり、今回の予想も変更ありません。

2. 損益

(単位:億円)

	2016年度実績				2017年度実績			2017年度業績予想	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	前年同期比	前期比	通期	前年度比
売上高	407	355	314	483	407	0.1%	△15.8%	(1,720) 1,720	10.3%
売上原価	△154	△145	△133	△230	△201	30.7%	△12.6%	-	-
販売費および一般管理費	△196	△185	△172	△208	△185	△6.0%	△11.9%	-	-
その他の収益	1	1	1	2	1	△41.3%	△58.5%	-	-
その他の費用	△1	△0	△0	△1	△0	△75.3%	11.1%	-	-
営業利益 (売上高比率)	57 (14.1%)	26 (7.3%)	10 (3.1%)	46 (9.5%)	22 (5.5%)	△61.2%	△51.8%	(180) 180 (10.5%)	29.4%
金融収益・金融費用	5	3	△4	7	△6	-	-	-	-
税引前当期利益 (売上高比率)	62 (15.2%)	29 (8.3%)	6 (2.0%)	53 (10.9%)	16 (3.9%)	△74.6%	△70.3%	(182) 182 (10.6%)	21.0%
法人所得税費用	△12	△6	△5	15	△6	△52.2%	-	-	-
当期利益 (売上高比率)	50 (12.2%)	23 (6.4%)	1 (0.4%)	68 (14.1%)	10 (2.4%)	△80.1%	△85.5%	(150) 150 (8.7%)	5.6%

(注)上段()の数値は、2017年4月27日発表時の予想であり、今回の予想も変更ありません。

3. 財政状態

(単位:億円)

	2016年度実績				2017年度実績	
	1Q末	2Q末	3Q末	4Q末	1Q末	前期比
総資産	2,057	2,070	2,206	2,316	2,175	△6.1%
親会社の所有者に 帰属する持分合計	878	898	1,006	1,095	1,093	△0.2%
親会社所有者帰属持分比率	42.7%	43.4%	45.6%	47.3%	50.3%	-

4. 配当の状況

(単位:円)

(基準日)	2016年度実績			2017年度予想		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末	年間
1株当たり配当金	13.00	12.00	25.00	未定	未定	未定

(注)現時点では2017年度の配当については未定です。今後の業績等を勘案し、可能となった時点で速やかに開示する予定です。